

「那須の森(仮称)」保全整備構想(案)説明図

《保全に留意すべき地区》
余笹川沿いの自然性の高い
ブナ林の保全

上部ゾーン（源泉の森）

【保全整備方針】

- 現状の地形や植生の維持
- 既存歩道の適切な活用
- 歩道等の整備による貴重植物群落の保護

中部ゾーン（体験の森）

【保全整備方針】

- 緩斜面と明るい林を活かした自然体験の場や二次林の自然観察の場の整備
- 能動的な森林管理の導入

○予定する活動タイプに応じたエリア分け

■ エントランス地区（メイン拠点）

- 利用者案内、情報提供、ガイダンス提供等の拠点整備
- 指導者養成・研修拠点、駐車場等の便益施設、管理施設の整備

■ 子供の体験活動エリア

- 自由で創造的な遊び体験空間の整備
- ツリーハウス、自然解説標識等の整備

■ 里山体験エリア

- 里山林管理(間伐、枝打ち、下刈り等)の追体験の場の整備

■ ブナの森エリア

- ブナ林の保存、最小限の自然観察路の整備

■ 北温泉台入口広場（サブ拠点）

- 休憩舎、展望台、トイレ等の整備

下部ゾーン（観察の森）

【保全整備方針】

- 森林や溪流の自然観察、エコツアーのフィールドとして活用
- 自然の推移に委ねる管理、自然観察路網の整備
- ガイド付きグループ利用による利用のコントロール
- 天然林への移行を促進する能動的な管理の導入検討(植林地)

那須ゲート・エリア

【保全整備方針】

- 国立公園の自然や利用等の情報提供拠点(ビジターセンター)の整備
- 自然環境調査に関する展示、情報提供の拠点整備
- 国立公園管理の中心拠点としての自然保護官事務所等の設置

0 0.5 1 2 km

